



「信州・新風・みらい」は、11月22日の11月定例会開会前の午前、昨



冒頭、下沢代表は、「知事は2期目最終年度

年より10項目多い280項目に及ぶ「平成30年度予算編成と当面の課題に関する提案書」を、下沢代表が阿部知事に手渡しました。この提案書は、会派に寄せられた県民の皆様からのご意見やご要望を踏まえたもので、『県政全般(基本的施策)』19項目、『各部局別施策』261項目にわたる「政策集団」としての立場を踏まえ、熱い思いを込めて取りまとめたものです。

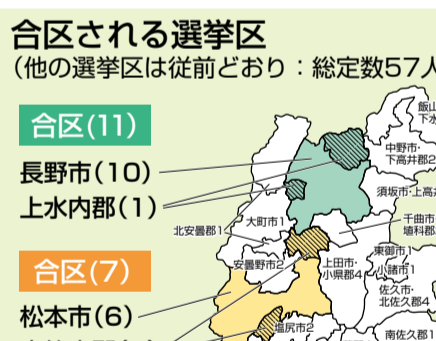
### 平成30年度予算編成と当面の課題

#### 280項目

#### 阿部知事に要望

であり、5か年計画の成果を期待したい。大北問題の信頼回復は急務だ。」と強く訴えました。これに対し知事は、「予算編成は選択と集中でやっていく。大北森林組合問題は信頼回復が最重要だ。仕事のあり方もしっかり変わるように取り組んでいく。」などと答えました。

各議員からは、鉄道・高速バス対策や子どもへの貧困対策、保健医療政策の推進、「観光立県長野」の再興、現地機関の適正な人員配置、防災への再整備、いじめ防止対策などの積極的な取り組みを要望しました。



選挙区等調査特別委員会は、11月10日から12月7日まで延べ6回の委員会を開催しました。11月17日の第23回委員会で「下伊那郡の北部を定数1の選挙区とし、西部を飯田市と合区して定数3の選挙区とする

案」を決しましたが、これに対し、下伊那郡町村会など地元から、「分割案は最も受け入れ難い」「定数1減である

- 2月定例会日程(予定)**
- ▽2月16日 開会
  - ▽22日 代表質問
  - ▽26日 3月2日一般質問
  - ▽6日 委員会審議
  - ▽14日 採決
  - ▽15日 役員選任
  - ▽16日 閉会

を飯田市と合区して定数4とする案」を全会一致で決定しました。佐久地域については、さまざまな意見があることなどから「現行どおり」としました。懸案であった定数・選挙区の見直しは、上水内郡が長野市と、東筑摩郡が松本市と合区になることも含め総定数57人で、次回(2019年4月)県議選から適用になります。

### 進めよう議会改革!!

多目的利用ができる武道館の整備(建築面積1万4000㎡) 債務負担57億1115万円

### 年頭ご挨拶

代表 下沢順一郎

新年を迎え、さらなる県政発展と県民生活向上を目指し決意を新たにしています。

昨年、大北森林組合の補助金不適正受給問題の追及や森林づくり県民税継続の可否、新5か年計画の策定、消防防災ヘリ墜落事故対策などのほか、県議会では選挙区・定数見直し

直し議論がありました。が、いずれも県民視点で取り組んでまいりました。

今年、新5か年計画がスタートし、夏には県知事選挙が行われます。私たちは、先に知事に提出をした280項目に及ぶ「平成30年度の予算編成と当面の課題に関する提案書」をもとに、県民の皆様への負託に応えられるよう、任期最終年度となる本年も会派一丸となって邁進する決意です。本年も、どうぞよろしくお願いいたします。

### 11月定例会

## 16億円余(債務負担10.1億円余)を補正

### 森林づくり県民税5年間継続へ

11月22日から17日間の会期で開催された11月定例会では、総額16億589万円の一般会計補正予算案や森林づくり県民税条例の一部改正案など知事提出28議案及び追加提出された人事案件2議案、7件の専決処分報告を審議、いずれも原案どおり可決・承認しました。

このほか、議員提出4議案及び議会最終日に委員会から提出された2議案を可決しました。この内、「長野県議会議員の定数及び選挙区に関する条例の一部を改正する条例案」は、飯田市や下伊那郡区選出議員など5人が反対、3人が退席する中、賛成多数での可決となりました。

4日間開催された一般質問では、議員30名(我が会派は9名)が演壇に立ち、大北森林組合等補助金問題や次期総合5か年計画、学びの改革、働き方改革、森林づくり県民税などを質しました。

**補正予算のポイント**

- ◎台風21・22号による災害への対応
  - 災害復旧事業 10億296万円
  - 消防防災航空体制の再構築 債務負担1億1401万円
  - ヘリコプター機体の借入れ 4414万円
  - 県立武道館の整備 債務負担2億5984万円
- 上や操縦士等の派遣受入 債務負担1億401万円
- 県単独公共事業(道路補修等) 債務負担15億900万円
- 東山魁夷館の改修 債務負担14億8100万円
- エレベーター増設、多目的トイレ等の設置、内装・外壁の補修など 債務負担8億4775万円
- 暮らしを支える基盤づくり
  - 補助公共事業(新年度実施の舗装・橋梁の補修、道路改築を前倒しして発注) 債務負担14億8100万円